

市町村指定文化財取材票 《表》

| | | | | | |
|-------|-------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 7月 | 15日 | (記入者) 鶴田吉範 | |
| 取材参加者 | 荒井 | 石井 | 垣内 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 本井 | 横山 | | |
| 取材対象先 | 天理市：蔵輪寺の木造地藏菩薩半跏像 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------|--|----|------------------------------|------------------|--|
| 所在地 | 天理市山田町1139-1 | | | | |
| 所有者(取材 対応者)名 | 蔵輪寺 森口俊弘住職 (個人情報守秘) | | | 連絡先 0743-69-2511 | |
| | PCアドレス | | | | |
| 取材申込 | 申込先・行政名など：蔵輪寺 森口俊弘住職 | | | | |
| 市町村 指定文化財 | 彫刻 | 1軀 | 木造地藏菩薩半跏像 2002(平成14)年3月26日指定 | | |
| | 建造物 | 棟 | | | |
| 文化財指定理由 | 檜材の寄木造りで、玉眼が嵌め込まれている。頭部に比べ上体が大きく、脚部が左右に張り、衣部の襞(ひだ)も力強く刻まれ、個性的な像様である。鎌倉末期の製作。 | | | | |

文化財の状況

| | 設備・対策・点検・通知方法など | 記入者の感想 |
|--------------------------------|--|-------------------------------------|
| 防火対策 | 消火器は本堂内に設置されており、火災報知機は本堂奥の天井2箇所を設置されている。また、防犯センサーも設置されている。 | 各設備の設置と共に本堂の横に住居もあり、火災等の対応は十分できている。 |
| | 被害の有無、対策など | 記入者の感想 |
| 獣害対策 | アライグマが境内に出没することはあるが、本堂内での被害はない。 | 特になし。 |
| 保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策 | 東大寺の大仏修理に深く関わった山田道安ゆかりのお寺である蔵輪寺の本尊として大事にされている。お寺のある天理市福住地域は、「日本書紀」にも記されている氷室の跡や、氷の神を祀る氷室神社、農耕儀礼の伝統行事である虫送りなど歴史遺産が多く残る地域である。それらを使った観光による地域の活性化と共に、引き続き蔵輪寺と人々による当該仏像の保存・継承を願いたい。 | |

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

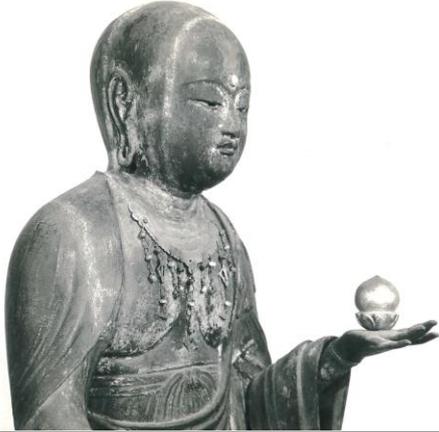
蔵輪寺では当該仏像は秘仏として公開しておらず、そのため本堂内厨子での保存環境も良く管理上の問題はない。年に一回、夜からの施餓鬼法要(8月23日)の準備のため、午前中は開帳することとで訪問し拝観した。蔵輪寺に限らず、市町村の指定文化財は常時拝観できる場所は少なく、積極的に指定文化財の説明板を掲げているところもあまりない。蔵輪寺においても文化財というよりも、信仰として当該仏像を守っていると強く感じた。当該仏像は写真撮影は不可となっている。

市町村指定文化財取材票《裏》

| | | | | | |
|-------|-------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 8月 | 23日 | (記入者) 鶴田吉範 | |
| 取材参加者 | 荒井 | 石井 | 垣内 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 本井 | 横山 | | |
| 取材対象先 | 天理市：蔵輪寺の木造地藏菩薩半跏像 | | | | |

* 文化財写真は1981年天理市教育委員会発行「天理市の仏像」より

文化財指定名 木造地藏菩薩半跏像

| 文化財 (正面写真) | 文化財 (角度を変えて、写真) |
|---|--|
|  |  |
| 文化財が安置されている蔵輪寺本堂 | 火災報知機の設置写真 |



| 文化財の由緒などを記入 | 所有社寺や地域(廃寺等)の歴史や特徴を記入 |
|--|---|
| <p>当該仏像は蔵輪寺の本尊で秘仏となっているが施餓鬼法要の日(本年は8月23日)に合わせ開帳している。安置している厨子は昭和34年12月に大修理が行われた。また、平成16年11月には本堂の改築落慶法要が行われた。仏像の全高は44.5cm、座高は33.5cmと小像であるが、頭部に比して上体が大きく、脚部も左右に張っており、小像とは思えない大きさを示している。</p> | <p>寺伝によれば、当該仏像が安置されている蔵輪寺は波羅門僧正が740年に聖武天皇の勅願により建立したお寺と言われている。また、1567年に兵火で焼けた東大寺大仏の復興に尽力した山田道安の菩提寺でもある。山田道安は仏門に帰依し1563年から10年間ここに居住し絵画、彫鑄の技を練り戦国時代唯一の武将芸術家として有名になった。本堂の裏に山田一族と道安父子のお墓が残されている。</p> |